

エスアールエイチアール

# SRHR

(性と生殖に関する健康と権利)

をご存じですか？

## SRHR（性と生殖に関する健康と権利）とは

SRHRとは、英語のSexual and Reproductive Health and Rightsの頭文字をとったもので、「セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」の呼称として広く使われており、「性と生殖に関する健康と権利」と訳されます。生涯を通して誰もが性や身体のことを自分で決め、健康に生きることを保障する権利です。女性は妊娠・出産の可能性があるなど、心身の状態がライフサイクルによって大きく変化するため、SRHRの視点が特に重要で、男女が共に関心と正しい知識を持つことが求められます。

SRHR(セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)は4つの関連し合う概念を組み合わせて作られている言葉です。

### ●セクシュアル・ヘルス

自分の「性」に関する健康。心身ともに満たされて幸せを感じられ、その状態を社会的にも認められている状態が理想です。

### ●リプロダクティブ・ヘルス

妊娠や出産など自分の「生殖」に関わるすべてにおいて、本人の意思が尊重され、自分らしく生きられること。生殖についてどのような立場をとっていたとしても、身体的、精神的、社会的にすべてが満たされた状態(ウェルビーイング)であることを指します。

### ●セクシュアル・ライツ

自分の愛する人の性、性的プライバシー、性的快楽、自分の性のあり方(男か女かそのどちらでもないか)といった、自分の「性」のあり方を自分で決められる権利で、性意識や性的指向の多様性を保証するものでもあります。

### ●リプロダクティブ・ライツ

産むか産まないか、いつ・何人子どもを持つかなど、自分の「生殖」に関するすべてのことを、責任をもって自分で自由に決められる権利で、そのために必要な情報やサービスを得られることも指します。(参考：公益財団法人ジョイセフ)

## SDGs(持続可能な開発目標)達成のために不可欠！ ～SRHRをめぐる国際的な動き～

SRHRの考え方のもとになったRHR(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)は、1994年の国際人口開発会議(エジプト・カイロ)において提唱された概念で、翌年の世界女性会議(中国・北京)で、「女性の人権」として再確認されました。現在、「セクシュアル・ヘルス/ライツ」を含むSRHRへと進展し、日本においても改めて注目を集めています。

SDGsの目標3「すべての人に健康と福祉を」や目標5「ジェンダー平等を実現しよう」のターゲットにはSRHRが深く関わっており、SDGsを達成するためには、人権としてのSRHRを推進することが欠かせません。

## 知ることから始めよう ～富士市の取組を紹介します！～

まずは一人ひとりがSRHRの考え方を知ることが、自分らしく生きるための力につながります。そして、家族やパートナーにその気づきを伝え、広げていくことが、社会を変えていくための第一歩になります。

富士市ではそんな「気づきの輪」を広げるための取組を展開しています。

### SRHR講演会

令和5年12月13日(水) ロゼシアター小ホール 約300人聴講  
主催：国際ソロプチニスト富士、公益財団法人ジョイセフ  
共催：富士市



講師の高尾美穂医師

産婦人科医の高尾美穂医師を講師にお招きし、「人生をよりよく生きるために～今なにを選ぶか。健康で幸せに生きるメソッド」と題して講演会を開催しました。

高尾医師はまず、「自分らしく生きる」ためには、小さなことでも自分の好きなものを選び取っていく毎日が大切とお話されました。2019年の国際人口開発会議(ケニア・ナイロビ)への出席を機に、避妊方法の選択肢が少ないなどSRHRの浸透が国際的に遅れている日本の現状を認識されたご経験をもとに、女性が「産む身体」であることが不利になってしまう社会の仕組みを変えていく必要性を訴えました。女性の健康支援を通じて「自分が幸せでいることが、周りにいる人の幸せにもつながる。」との考え方を示し、「皆一緒に一歩前へ」と、会場いっぱい詰めた参加者に力強く優しいメッセージを送ってくれました。

### ホワイトリボンラン

【ホワイトリボンラン2024】令和6年3月1日(金)～31日(日)  
主催：公益財団法人ジョイセフ  
富士拠点主催：NPO法人楽しいことやら座  
共催：富士市

ホワイトリボンランは、女性の健康と権利の大切さを伝える国際的なシンボルマークである「ホワイトリボン」支援の輪を広げることを目的に、3月8日の国際女性デーと連動させ、ジョイセフが2016年から全国で展開しているチャリティアクションです。大会公式Tシャツを着て、世界の女性のために走り、エントリー費の収益全額は女性の命と健康を守る活動に寄付されます。今年度、富士市では富士田子の浦会場(3月2日(土))、富士大淵会場(3月3日(日))の2拠点で実施予定です。

詳細は、右のQRコードから富士市ウェブサイト(ホワイトリボンラン)をご覧ください。





今年度も富士市内で、市や市民による男女共同参画を進めるための取組が多数行われています。その活動の一部をご紹介します。

## 女性のデジタルスキル習得講座

日程：①令和5年11月14日(火)～、②11月28日(火)～<各4回>  
会場：WORX富士、みらいてらす 主催：富士市

### 「わたしらしく働く」を叶えるための第一歩

本市の事業所は製造業の割合が高く、1事業所あたりの管理職数の平均は男性4.42人に対し、女性は0.69人（平成29年度事業者調査）と少ない状況にあり、30代女性の就労率は全国平均を下回っているなど、女性活躍の場が少ないと考えられます。また、人手不足が大きな問題となっている現在、企業にとっても女性活躍や働き方改革が重要なテーマとなっています。こうした状況を踏まえ、テレワークやワークシェア等、多様な働き方の可能性を広げ、自分らしい働き方を希望する女性を支援するため、富士市では、今年度より新たに「女性デジタルスキル習得講座」を実施しました。

内容はウェブ制作とデジタルスキルを活かしたマーケティング

講座の2コースで、2つの日程に分けてそれぞれ4回の連続講座として開催し、延べ80名が参加しました。子育て世代の参加も多く、受講者の皆さんが真剣なまなざしで取り組んでいる姿が印象的でした。それぞれが希望する働き方での就労の希望を叶え、ワーク・ライフ・バランスの実現につなげていくために、重要な一歩となる実践的な講座を開催することができました。



熱心に取り組む受講者の皆さん

## 女性に対する暴力をなくす運動

日程：令和5年11月12日(日)～25日(土)  
※25日は女性に対する暴力撤廃国際日

### 「ひとりで悩まず、相談してください」のメッセージを込めて

内閣府等が主唱する「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせて、富士市では、市役所2階ロビーでDV等の防止に関する啓発展示を行ったほか、富士川サービスエリアにある大観覧車「フジスカイビュー」を女性に対する暴力根絶のシンボルマークである「パープルリボン」にちなんで、紫にライトアップしました。大観覧車のパープルライトアップは平成29年度に開始し、今回で7回目となります。



大観覧車に浮かび上がるパープルリボン

また、富士市議会11月定例会本会議初日には、富士市議会議員及び市長、副市長、教育長、関係部長

が、パープルリボンを身に着けるなどパープルを着用し、出席されました。

夫・パートナーからの暴力、性犯罪、売買春、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等の暴力行為は、いかなる場合も決して許されるものではありません。パープルライトアップやパープルの着用には、女性に対するあらゆる暴力の根絶を市民に広く呼び掛けるとともに、被害者に対して『ひとりで悩まず、まずは相談してください』というメッセージが込められています。



市議会11月定例会本会議初日にパープル着用

## 男女共同参画地区推進員ブロック事業

### あなたの暮らす地域でも、特色ある活動を展開中！

富士市では、生活に身近な地域から男女共同参画を推進するため、富士市男女共同参画条例に基づき、平成16年度から市内全26地区に男女共同参画地区推進員を設置しています。令和5年度は97人（令和6年1月現在）の推進員が各地区で、チラシやグッズ配布によるPR活動やアンケートの実施、講座開催など趣向を凝らした活動を展開しています。

また、より広く多くの方に男女共同参画について知っていただ

く機会とするため、市を6つのブロックに分けてさまざまなイベントを企画・運営しています。西部ブロックでは、12月23日(土)、24日(日)に富士川楽座で「みんなで作る、みんなの未来」と題し、市や市民団体が行う男女共同参画の取組を紹介するパネル展を行いました。大観覧車招待券の当たる抽せん会や市食育キャラクターむすびんの登場などもあり、親子連れや観光客など多くの人でにぎわいました。

### その他のブロック事業紹介（すべて令和6年、MC：まちづくりセンター）

- 南 部：新春初笑い落語 笑福亭学光独演会&紙芝居上演 1月13日(土) 富士北MC
- 北西部：映画上映会「瀬戸内寂聴 99年生きて思うこと」 1月20日(土) 丘MC
- 東 部：講演「女性が活躍すると社会も輝く」（講師：山下いづみさん、佐藤菊乃さん）  
&マジックショー 1月27日(土) 吉永MC
- 北 部：酔狂亭雀庵落語&ハンドバルコンサート 2月17日(土) 吉永北MC
- 中 部：講演「製造業の女性経営者となって挑んできたこと」（講師：和久田恵子さん）  
&影絵コンサート 3月9日(土) 吉原MC



西部ブロック事業での展示の様子



# 学ぶ。つながる。相談する。

富士市男女共同参画センターは、性別や年齢に関わらず、誰でも気軽にご利用いただける富士市の男女共同参画の拠点施設です。

気軽に  
お越しください

## 富士市 男女共同参画 センター

### 【富士市男女共同参画センター】

〒416-8558  
富士市本市場432-1(フィランセ西館 3階)  
TEL/FAX 0545-64-9017  
開館時間/8:30~21:00  
休館日/毎月第3日曜、祝休日、年末年始

フィランセ西館  
3階です!



## 施設

### 情報コーナー

育児、夫婦関係、健康、LGBTQなど幅広い分野の図書やお子さまに人気の絵本、ビデオを貸し出しています。フィランセ開館時ならいつでも利用可能です。

雑誌毎月更新中!  
(婦人公論・オレンジページ)



### 女性のための相談室

相談無料  
秘密厳守

女性が抱える様々な問題・悩みについて、女性相談員が話を聴き、解決に向けて共に考え、必要に応じて関係機関を紹介します。

相談専用電話 ☎0545-64-8997

- 相談日: 月~金曜日(休祝日・年末年始除く)
- 相談時間: 9:00~17:00
- 相談方法: 電話・面接(要予約)・メール



メール相談は  
こちらから

## 事業

### 富士発・ひとひとのフォーラム

男女共同参画センター利用団体で構成する「きらり交流会議」が、子育て支援、親子料理教室、アート、防災、SDGs など様々なテーマで、男女共同参画の視点を盛り込んだ講座や講演会等を年間通して開催しています。



「飛び出すカード作り!」  
講師: 漆畑勇司さん(彫刻家)

### ほっとスペース

手遊びや読み聞かせ、工作などを通して、お子様と一緒に心が「ホット」になって、「ほっと」とする楽しいひとときを過ごしませんか。



子育てのヒントも盛りだくさんです。



★開催内容は、広報ふじや富士市ウェブサイト・SNS、市民活躍・男女共同参画課Instagramで随時お知らせしています。

## 富士市は 男女共同参画宣言都市 です。

富士市は性別に関わりなく、誰もが個性と能力を発揮し、心豊かに生きる社会を目指し、平成21年9月、内閣府の指定を受け、「男女共同参画宣言都市」となりました。県内では、島田市に続いて2番目の男女共同参画宣言都市です。

富士市木島に、男女共同参画宣言都市の広告塔があります。



記事についてのお問い合わせ、ご意見・ご感想はこちらへ。

編集・発行

富士市市民部 市民活躍・男女共同参画課  
男女共同参画室(富士市役所3階北側)

TEL 0545-55-2724 FAX 0545-55-2864  
E-mail: si-danjo@div.city.fuji.shizuoka.jp  
住所: 〒417-8601 富士市永田町1-100

# きらり

「きらり」は年1回発行します。世帯回覧のほか、各地区まちづくりセンターや図書館、市民活躍・男女共同参画課でも配布しています。ぜひ皆様でご覧ください。



きらり最新号と  
バックナンバー



市民活躍・男女共同  
参画課 Instagram